

# 貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ 東京都環境局  
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成28年8月1～2日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部から横浜沖にかけて広く分布しています。内湾北部では、沿岸部を除くほとんどの海域が貧酸素化しています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布をみると、貧酸素水塊は水深10m以深で発達しており、一部の海域では中層まで達しています(図2)。また、規模は直近10年の平均を上回り、今年最大となっています(図3)。

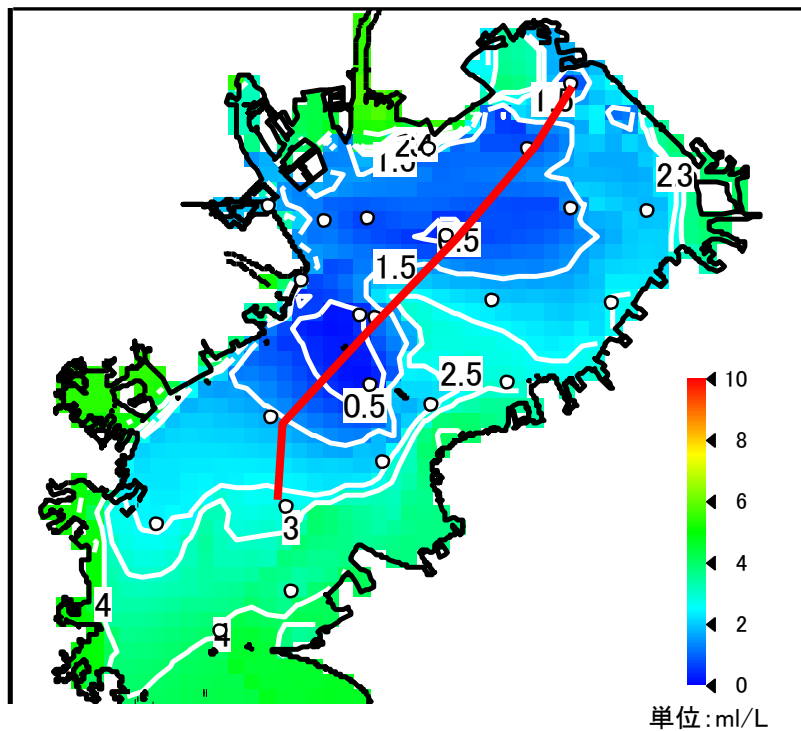


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

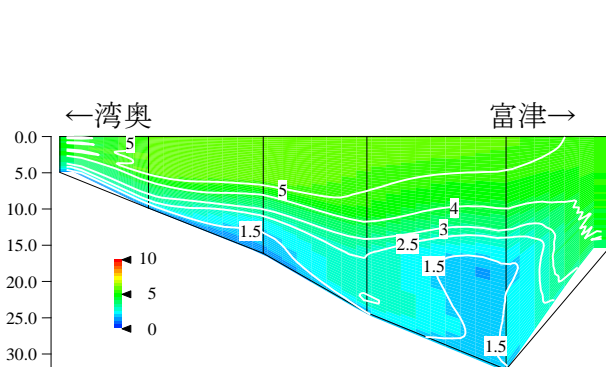


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

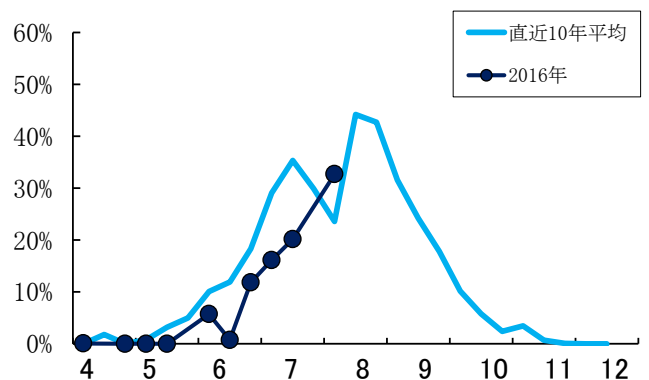


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)